

# 宝達山

宝達志水町立宝達小学校

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子



令和4年7月7日(木)  
文責 校長 村田 浩彦

## 英語を積極的に!

あるインターネット記事を読んでいてなるほどと思ったことがあります。英語を話すことに抵抗がある日本人は多いですが、それは英語を完璧に話さなければならないと考えているからだそうです。

しかし、世界には母国語が英語ではない人たちが英語を使える人も少なくないですが、ネイティブ並に英語を話せる人は殆どおらず、みな母国語訛りのある英語なのです。でも彼らは全然恥ずかしがりません。母国語ではないから訛っていて当然だと考えているのです。だから私たちもどんどん英語を使いましょう。それが「日本語英語」でも全く問題ありません! 宝達小学校の子どもたちも少しずつ英語を使う練習をしています。1年生は毎日、帰りの会で、英語ジャンケンをしています。玄関で見送る先生方にも、英語ジャンケンを挑んできます。Rock、Scissors、Paper、1、2、Shoot!



## ☆☆☆全校集会で伝えたこと☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

7月1日の全校集会は、熱中症予防のため、リモート集会になりました。これまでに何度かリモート集会を行っていましたが、子どもたちはエアコンの効いた各教室で快適に集会に参加することができました。

今回の集会では、伝統を受け継ぐことをテーマに、現在24日の石川県自転車大会出場を目指して、1か月前から練習に励んでいる6年生と4年生の8名のことを取り上げました。暑い中ですが、学科と実技の練習に毎日2時間取り組んでいる子どもたちの様子をスライドで紹介し、その後8人のメンバーから大会に向けての決意表明をひとつずつ述べてもらいました。

全国大会常連の宝達小学校ですが、ここ2年間は大会がありませんでした。先輩方の思いと一緒に大会に頑張ってもらいたいと思います。





## < S D G S (エス・ディー・ジーズ) >

本校に赴任が決まったとき、思い浮かんだ事の一つに「アサギマダラ」がありました。アサギマダラの羽根に直接書き込むマーキング活動に賛否があるらしいですが、自然や動植物に触れ、環境保護等を考えるよい機会になっているのではないかと

と思います。アサギマダラの学習をとおして、環境についての学習を進め理解を深めていきたいと思います。今年度もおそらく秋頃に学習することになると思いますが、統合する3校合同の学習を計画中です。右の写真は、3年生がアサギマダラ新聞を作成している様子です。近く発表会もあると思いますので楽しみにしています。



## \*\*\*サーキュラーエコノミーって?\*\*\*

さて、お話は変わりますが、最近、「サーキュラーエコノミー」という言葉を知りました。持続可能な社会の実現のため、これまで廃棄されていたものを再び製品や資源として再活用し、資源を循環させるという新しい経済システムの考え方で、日本語で「循環型経済」と訳されます。これまでも、3R（リデュース、リユース、リサイクル）という考え方がありましたが、廃棄物自体を出さないとする「サーキュラーエコノミー」とは異なるようです。最近では、廃棄物を出さないだけでなく、利益を生むものという視点に立って、積極的に「サーキュラーエコノミー」の関連の事業に取り組もうとする企業が出てきているようです。2015年に採択された「SDG's」ですが、近年世界の国や企業その他、教育の世界でも取組が増えてきています。未来社会の担い手である子どもたちに、「サーキュラーエコノミー」の考え方を伝えていきます。



## < 新型コロナウイルス感染症拡大防止のお願い >

昨日、新型コロナウイルス感染症の県内の新規感染者は300人を超え、全国的にも感染拡大傾向にあり、第8波の危険性が指摘されています。これは、熱中症防止のためにマスクを外すことが推奨されているのも理由の一つのようです。引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

なお、児童やご家族の方がPCR検査を受ける（受けた）場合は、学校まで受ける（受けた）ことの電話連絡をお願いします。土日祝日など学校閉庁日には、宝達志水町役場に電話連絡をお願いします。

石川県のホームページに、無料検査についての情報を載せてありますので、そちらについてもご覧ください。下記のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/ippankensa.html>